

《第75回》 楠6町内子ども会(14) 「第1回 廃品回収」 育成会会長 石川裕美、庄島彩華

令和5年5月21日(日)、今年度第1回目となる廃品回収を希望ヶ丘中央公園で行いました。

始める前に「廃品回収は何の為にやるの?」との問いかけに、「リサイクル出来る!」「集めたのがお金になる!」「地域の為」と色々なこたえが返ってきました。

子ども達も、廃品回収をする事でリサイクル出来て、何かに生まれ変わって、私達、子ども会の活動が出来る事を理解してくれたと思います。

注意事項を話して、スタート!!!

回収車には「子供会回収中」と紙を見える位置に置いて、子どもも同乗し、回収を行いました。

自治会の沢山の方に協力して頂きながら、保護者もサポートして、新聞やダンボールを運んだり、空き缶を潰したり、回収物を分別しながらトラックに積み込みました。

みなさんの協力があって、トラックいっぱい回収する事が出来ました。

終わった後の、子ども達や大人の笑顔が達成感で溢れていました。



協力して回収中

お手伝い頂いた自治会の方にお礼をし、ご褒美のジュースとお菓子をゲット! 暑い中の作業でしたので、とても嬉しそうでした!

頑張って回収した資源が、子ども会の活動費になったり、自治会の方と協力して、地域貢献も出来て素晴らしい活動です。今年度は全部で3回を予定していますので、次回も頑張りたいと思います!



紙のリサイクル

SDGs 15陸の豊かさを守ろう



森林保全に役立ちます





アルミ缶のリサイクル

SDGs 7 エネルギーをみんなに

アルミニウムを原料のボーキサイトから作る場合に比べて、必要なエネルギーはたった**3%**で済みます。
(約**97%**の節約)



お疲れ様でした



「がんばったぞ！ オー！」

「地域の皆様、自治会の皆様、保護者の皆様ご協力ありがとうございました。」

「子どもたちもよく頑張りました。」

《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございました。始める前に「廃品回収は何の為にやるの？」と問いかけてありますが、この『何のために？』という問いかけは大変大切なことだと思います。そして、楠6町内の子どもたちはちゃんと子どもたちなりの目的意識を持っているようです。

この様に、目的意識を持つと活動に主体的に取り組むことが出来ます。人から言われて何も考えずに活動する「ただの働きアリ」ではなく、自分の意思で活動する「考える働きアリ」になったと思います。この様な取り組みに敬意を表します。他の子ども会も、廃品回収（リサイクル活動・資源回収活動）はもちろんのこと、他のいろんな活動で「考える働きアリ」を育てる活動につなげて欲しいと思います。

この「考える働きアリ」を育てる活動が、将来のリーダーを育てる活動につながっていくと思います。

昨年の総会時の田中晶子先生の講演で「動機づけを高める3欲求」（・自分で決めた！
・達成感があった！ ・お友達と一緒にやった！ ・大人が見守っていた！）の話をされましたが、この廃品回収の活動は、正に講演の実践例のようです。

- ② 廃品回収（紙・空き缶の資源回収）を地域の人に知らせ、自治会の沢山の方が協力されるこの取り組みは、地域との絆が強くなる理想の取り組みだと思います。

地域の人が地域の子どもの知り、子どもたちも地域の人を知り、交流の輪が広がるきっかけになることでしょう。年度初めの、この様に地域と関わる活動は子ども会活動として大変意義深いものです。地域と関わる活動は、子どもたちにいろんな面でプラスとなると思います。

- ③ お世話された役員の皆様大変お疲れ様でした。活動の定例化、そして活動のマニュアルを引き継いでいくことで、その活動の各係の人も負担が少しずつ減っていくものと思います。

楠6町内子ども会の益々のご活躍と子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。